

【乙部町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月)で示されているとおり、GIGAスクール構想にて整備された1人1台端末、高速大容量ネットワーク等を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指す。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に1人1台端末および通信ネットワークの整備を行ったほか、ICT支援員を継続的に配置し、校内ネットワークの管理や教職員及び児童生徒のICT機器活用のサポートを行ってきた。

課題として、端末やアクセスポイントの故障等によるネットワーク障害が頻発しており、予備機の追加購入や修繕で対応してきたが、継続した学びの実現に少なからず支障があった。

今後の対応策として、本町の教育現場にあったOSの検討やネットワークの継続的な保守、アクセスメントの実施等を継続し、適宜、更新等の対応を行っていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

上記を踏まえ、GIGA第2期においては文部科学省より示されている「教育DXに係る当面のKPI」の達成を目指し、以下のとおり実施していく。

(1) 1人1台端末の積極的な活用

児童生徒が日常的に端末を活用できる環境を整えるため、使いやすい端末の導入や安定的なネットワーク環境を整備・維持するための方策を検討し、実施する。

また、教職員へのICT研修の充実やICT支援員の継続的配置により、教職員のICTリテラシー向上を推進する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

個別最適な学びの実現のため、現在も導入しているAIドリルを継続する。

また、共同学習ツールの活用を継続するほか、教職員がより協働的な授業を構築できるように、研修の実施やICT支援員の活用を促進する。

(3) 学びの保障

現在まで実施してきた不登校児童生徒や特別支援学級に所属する児童生徒等への支援を継続し、より個別最適な対応へと発展させる方策を検討していく。

また、端末を活用した健康観察・教育相談を行うための方策を検討していく。